

## 第七十三回 帝國議院

## 國民健康保険法案委員會議錄(速記)第二回

付託議案  
國民健康保険法案(政府提出)

衆議院

## 會議

昭和十三年一月二十九日(土曜日)午前十時

三十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事武知勇記君 理事青木亮貫君

理事小笠原八十美君 理事盛島明長君

理事北勝太郎君 理事佐竹晴記君

高田耘平君 清水留三郎君

寺島權藏君 中崎俊秀君

松田喜三郎君 木原七郎君

喜多壯一郎君 田中邦治君

山田順策君 成島勇君

野方次郎君 高見之通君

世耕弘一君 西川貞一君

岩元榮次郎君 本田義成君

松尾孝之君 土倉宗明君

鹽川正藏君 小野廉君

河合義一君 田中耕君

田中養達君 出席國務大臣左ノ如シ  
出席政府委員左ノ如シ  
厚生政務次官 工藤鐵男君

厚生次官 廣瀬久忠君

厚生參與官 山本芳治君

厚生省衛生局長 林信夫君

厚生省豫防局長 高野六郎君

保險院長官 進藤誠一君

保險院總務局長 佐藤基君

保險院社會保險局長 清水玄君

保險院簡易保險局長 藤川靖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
國民健康保険法案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シ

マス、先づ第一ニ厚生大臣ノ本案ニ對スル

説明ヲ伺ヒマス

○工藤政府委員 生憎厚生大臣ハ閣議ニ出

テ居リマスノデ、私ガ此提案ノ趣旨ヲ御説

明申上ゲマス

御承知ノ如ク政府ハ曩ニ本案ヲ七十回議

會ニ提出致シマシタケレドモ、衆議院

ニ於テ一部修正ノ上可決セラレマシタガ、

貴族院ニ於テ委員會ニ於キマシテ、衆議院

ノ修正通リ是亦可決サレタノデアリマスケ  
レドモ、衆議院解散ノ爲ニ本案ハ不成立ニ  
ナツタコトハ洵ニ遺憾デアッタノデアリマス、  
然ルニ其後情勢ハ段々變ッテ參リマシテ、殊

=銃後ノ社會的施設ヲバドウシテモ整備充  
實シナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレテ、一日モ早ク之ヲ成立セシムルト云フコトハ、洵ニ必要ナリト考ヘマシテ、今期議會ニ之ヲ提出スルコトニナッタ次第アリマス  
國民ノ保健狀況ハ漸次改善セラレツ、アリスルトマダ良好ト申スコトハ出來マセヌ、殊ニ最近ニ於キマシテ壯丁ノ體位ノ低下ト云フコトハ、著シク日本ノ朝野ノ人ニ不安ヲ與ヘタノデアッテ、洵ニ寒心ニ堪ヘナリマス、此國民ノ健康ヲ保持増進スルコトハ、國力ノ充實發展、國民生活安定ノ見地カラ見テ大切ナコトデアリマスルガ、就中傷病ニ際シマシテ、醫療ヲ受ケテ速ニ健康ヲ恢復スルト云フコトハ、是亦最モ肝要ナコトデアリマス、然ルニ醫療ニ際シ直チニ考ヘナケレバナラヌコトハ醫療費デアリマス、一時ニ澤山ノ費用ヲ要スルト云フコトハ疲弊セル山村、漁村ノ居住民、或ハ都市ノ中小商工業者ニ取ツテハ、其負擔ニ堪ヘ

度ハ相扶共濟ノ精神ニ則ツテ保険組合ヲ設置セシメ、組合ヲシテ療養等ノ給付ヲ爲サシメントスルノデアリマス、組合ニハ普通國而シテ醫療費ノ解決ニハ救療或ハ輕費診療等ノ方法モアリマスケレドモ、是等ハ何レモ局部的ノ施設デアッテ、隨テ一般的ニ此問題ヲ解決スルニハ、別段ノ方法ヲ考ヘル必要ガアルノデアリマス、ソレニハ共同ノ力ト平素ノ用意トニ依ル保険制度ヲ以テ、出來得ルダケ其危險ヲ分散セシメマジテ、以テ不時ノ醫療費ノ負擔ヲ輕減スルノ外ハナイト信ジテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク現在既ニ健康保険ノ制度が實施セラレマシテ、相當ノ效果ヲ擧ゲテ居リマスケレドモ、其對象ハ主トシテ工場、礦山其外ノ勞働者ノ範圍ニ限ラレテ居リマスノデ、更ニ之ヲ廣ク一般國民、特ニ山村漁村居住民及ビ都市中小商工業者等ノ小額所得者ヲ對象トシテ、實施スルノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、仍テ政府ハ其實情ヲ十分調べマシテ、且又現行健康保険ノ實績ヲモ参照致シマシテ、茲ニ本制度ヲ立案スルニ至ツタノデアリマス

民健康保険組合ト、特別國民健康保険組合トノ二ツニ分ケテ居リマスルガ、前者ハ市町村等ノ區域ニ依リ、其區域内ノ世帯主ヲ以テ組合員ト致ス地區組合デアリマシテ、之ヲ以テ原則的ナルモノト致シテ居リマス、後者ハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ從事スル者ヲ以テ組織スル組合デアリマシテ、前者ニ對スル補充的ナルモノト見テ宜シイノデアリマス、斯ノ如ク本事業ハ國民健康保險組合ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ立前トシテ居リマスガ、農山漁村ニ於キマシテヘ、員ノ爲ニ醫療ニ關スル施設ヲ行ヒ、之ニ關シ相當ノ經驗ヲ有シ訓練ヲ經テ居リ、本事業ヲ完全ニ遂行シ得ル能力ヲ有スルモノガアル場合ニ於キマシテハ、特ニ同ジ町村内ニ於テ、二重ニ國民健康保険組合ヲ設立セズトモ、其法人ヲシテ國民健康保険組合ノ事業ヲ行フコトヲ得シムル途ヲ拓イテ置キマスコトガ、地方ノ實情ニ適合スルモノト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ例外トシテ前述ノ如き法人ガ一定ノ條件ニ該當スル場合ニ於キマシテハ、監督官廳ノ許可ヲ受ケテ、國民健康保険組合ノ事業ヲ行フコトヲ認メ得ルコト致シテ居リマス

ニ於テハ其地區内ノ世帶主、特別國民健保組合ニ於テハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ從事スル者デアリマシテ、何レモ任意加入デアリマスガ、普通組合ニ於テハ三分ノ二以上ノ加入者アル場合ニ限り、必要アルトキハ其地區内ノ者ヲ總チ組合員ト爲スコトモ出來ルノデアリマス

被保險者即チ保險給付ヲ受クル者ハ、組合員及同居ノ家族、使用人等其世帯ニ屬スル者デアリマシテ、實情ニ依リ組合ハ一定ノ者ヲ除クコトガ出來マスガ、本制度ハ中產以下ノ者ヲ對象ト致シテ居リマヌノデ、貧窮者ト雖モ可及的ニ之ヲ包含シ、共濟ノ精神ニ則リ相携ヘテ其成果ヲ發揚セシムルヤウ指導スル考デアリマス

組合ハ積極的ニ被保險者ノ健康ヲ保持増進スル爲メ、傷病ノ豫防其他各種ノ保險施設ヲ爲スコトモ出來ルコトトシテ居リマス  
第四、組合ハ保險給付ヲ爲ス爲メ、組合員ヨリ保險料ヲ徵收スルノデアリマスガ、保險料率、算定方法及ビ徵收方法ハ、保險給付ノ内容及ビ地方ノ實情ニ適應スルヤウ、組合ノ自治的決定ニ委ネルコトトシテ居リマス、通常保險料率ハ組合員ノ資力ノ程度

ニ付キ、組合ノ實情ニ應ジ自治的ニ運營セシ  
メルコトトシテ居リマスガ、其國家的使命  
ノ重大性ニ鑑ミマシテ、政府ハ十分是ガ指  
導監督ヲ爲シ誤ナキヲ期スルト共ニ、一面  
財政的ニ之ヲ助成シ、其普及發達ヲ圖リタ  
イト存ジテ居リマス、尙ホ組合ノ管理、分  
合解散、監督、審査及訴願等ニ關シテハ、現  
在ノ健康保険組合ト略、同様デアリマス

又社會保險ノ性質上多額ノ收入アル者ハ、之ヲ被保險者トシナイノガ本則デアリマスガ、農村等ニ於テハ寧ロ是等ノ者ヲモ加ヘル方ガ適當ナル場合ガ多カラウト思ヘレマスノデ、其邊ハ地方ノ實情ニ適合スルヤウニ、制度ノ運用ヲ圖ル積リデアリマス。

第三ニハ保険給付ニ付テハ療養、助產、葬祭ノ三種類トシテ居リマスガ、組合ノ狀況ニ依リ命令ニ定ムル給付ヲモ附加スルコトガ出來ルノデアリマス、療養ノ給付ハ何れノ組合ト雖モ之ヲ爲サナケレバナリマセ

マス、通常保険料率ハ組合員ノ資力ノ程度ニ應ジ、若干ノ差等ヲ付スルコトトシ、又農村等ニ於テハ場合ニ依リ物納ノ方法ヲ採ルトカ、收穫時期ニ納付セシメルトカ、保險料ノ納付ニ付テハ、組合員ヲシテ苦痛ヲ感ゼシメナイヤウニ指導スル方針デアリマスガ、一面保険料收入ヲ確保スル爲メ、組合ニ強制徵收ヲ爲シ得ル途ヲ拓イテ居リマス、尙ホ無事故者ニ對シテハ保険料ノ一部拂戻モ出來ルコトニナツテ居リマス、只今申上ゲマシタ保険料ノ外ニ、組合ハ

第五、本制度ハ醫療問題ヲ解決シ、  
以テ國民ノ健康ヲ保持増進セントスル  
モノデアリマスガ、其實施ニ當リマシテ是  
モ留意スベキハ、醫療機關トノ關係デアリ  
マス、之ニ付テハ被保險者ニ醫療機關選擇  
ノ自由ヲ出來ルダケ認メルト共ニ、現在ニ  
醫療制度ニ影響ヲ與フルコトハ可及的ニナ  
ラ避ケ、以テ適切ナル醫療ヲ受ケシムルヤ  
ウ特ニ留意致シタノデアリマス、其爲メ又  
合又ハ代行法人ニ於テ、其被保險者ニ對シ  
診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師

付ラ受ケル者ニ負擔セシメル所謂一部負擔ノ制度ヲ採用シ得ルコトシテ居リマス、是ハ受益者負擔ノ思想ヲ加味スルト共ニ、診療ノ濫用ヲ防止シ、又組合員ノ常時ノ負擔ヲ輕減スルノ趣旨ニ出タモノデアリマス、本制度ハ以上ノ如ク其組織、事業及ビ經營ニ付キ、組合ノ實情ニ應ジ自治的ニ運營セシメルコトトシテ居リマスガ、其國家的使命ノ重大性ニ鑑ミマシテ、政府ハ十分是ガ指導監督ヲ爲シ誤ナキヲ期スルト共ニ、一面財政的ニ之ヲ助成シ、其普及發達ヲ圖リタ合解散、監督、審査及訴願等ニ關シテハ、現イト存ジテ居リマス、尙ホ組合ノ管理、分在ノ健康保険組合ト略、同様デアリマス

又ハ薬剤師ノ範圍ヲ定メマスル際ニハ、地方長官ノ認可ヲ受ケシメ、地方長官ハ其認可ニ際シマシテハ、國民健康保險委員會ノ意見ヲ徵スルコトナツテ居ルノデアリマス、而シテ國民健康保險委員會ニハ官吏及組合側竝ニ醫師會、齒科醫師會、藥劑師會側ヨリ、ソレヽ委員ヲ出スコトニナツテ居リマスルノデ、組合ノ醫療組織ノ決定ハ適正ニ行ハレルモノト考ヘテ居リマス、尙ホ萬一組合ト醫療機關トノ間ニ、契約ニ關シ紛議ノ發生致シマシタヤウナ場合ニハ、是亦國民健康保險委員會ノ斡旋ニ依リ、是ガ圓滿ナル解決ヲ圖リ、以テ本事業ノ遂行ニ支障ナキヲ期シテ居ルノデアリマス尙ホ本法案ニ關シマシテハ第七十回議會ニ於テ衆議院ノ御修正ガアッタノデアリマス、修正ノ要點ハ原案第九條ノ、營利ヲ目的トセザル社團法人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フコトヲ得ル旨ノ所謂代行ニ關スル規定ヲ、昭和十二年三月三十日ニ於テ現ニ醫療事業ヲ行フ醫療利用組合ニ限定シ、其旨ヲ附則ニ規定スル點ニアッタノデアリマス、修正ノ御趣旨ハ代行ヲ例外的ノモノトシテ制限セントスルニアッタモノト存ズルノデアリマス、代行ノ制限方法ニ付キマシテハ、第七十回議會ノ修正案ノ

如ク、一定期日マデニ成立セル組合ニ限ルト云フ方法モアリマスケレドモ、其後種々ノ議論ニ鑑ミ、當局ニ於キマシテモ更ニ検行ノ問題ニ關シ審議ヲ願ヒマシタ結果、寧ロ質的ニ、内容的ニ論ジテ限定致スコトガ最モ適當デアルトノ結論ヲ得タノデアリマス、而シテ代行許可ニ當リマシテハ、命令若クヘ通牒ニ於テソレハ、嚴格ナル標準ヲ設ケ、嚴選致ス方針ニ致シテ居ルノデアリマス  
以上概略申上ダマシタ如ク、本制度ハ一般國民ノ健康ノ保持増進ヲ圖ル上ニ於テ、最モ障碍トナッテ居ル醫療費問題ヲ、自治的組合ニ依ル保険組織ヲ以テ解決セントスルモノデアリマシテ、國民ノ保健及ビ生活安定ノ聲高キ現下ノ狀況ニ鑑ミ、是ガ實施ハ喫緊ノ要務ナリト存ズル次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛アランコトヲ切ニ希望致シマス

ベク慎重ニ此案ヲ議シテ戴キタイト思ヒマ  
ス、隨テ質問等ニ付キマシテモ、成ベク多數  
ノ方ニ行涉ツテ發言ヲ許可シタイト思ヒマ  
スルガ、從來ノ例ニ依リマスト、相當重  
複ヲスル虞ガアルノデアリマス、成ベク皆  
サンノ御質問ノ要領ハ御聽取り置キヲ願ッ  
テ、重複ニ涉ラザルヤウニ御注意ヲ御願致  
シマス、隨テ御質疑中若シ他ノ委員諸君ノ  
御質問ト重複スルヤウナ場合ガアリマシタ  
ラ、場合ニ依ツテハ御注意ヲ申上ゲルコトモ  
アルダラウト思ヒマス、其點ヲ一つ御留意  
ヲ御願致シテ置キタイト思ヒマス、是カ  
ラ通告順ニ依ツテ質疑ヲ許可致シマス——

シタ事實ヲ發見致シマシテ、當局ハ非常ニ憂慮シ、其結果醫師ノ職務ハ營利ニアラズト法文ニ明文化シマシタ、所謂醫療ノ統制合理化ヲ斷行シタノデアリマス、英吉利ニ於キマシテハ、「トランスバール」ノ戰亂後ニ於キマシテ、國民ノ體位ガ非常ニ惡化シタ、其結果衛生省ヲ新設致シマシテ、保健機構ヲ統一シタノデアリマス、日本ニ於テハ、統計的ニ私共見マスルト、明治三十九年、所謂日露戰爭直後ト云フモノハ、非常ニ國民ノ體位ガ惡ウゴザイマシタ、其統計ニ現レタノハ、日本人ノ人口增加ノ率デアリマス、三十九年ガ統計上一番日本ノ人口ノ増減率ガ少カツタノデアリマス、今回ノ事變ハ相當長引クト思ヒマス、ソレニ付キマシテ、政府ハ此特別ノ事變竝ニ戰爭ノ結果起ルベキ特殊ノ保健對策ヲドウ云フ風ニ御持合セデアリマスルカ、今年ノ豫算ヲ見マスルト、對策ノ費用デアルトカ、無醫村ニ對スル醫療費ノ補助デアルトカ、或ハ政府ノ一部ニ於テ主張サレテ居リマスル、保健國策トシテ居ル所謂國民體力ノ管理制度デアルトカ、特ニ前七十議會ニ於テ此委員會ノ附帶決議

トナツテ現レマシタ結果、政府ガ豫算ニ入レ  
マシタ醫藥制度ノ調査會ノ費用デアルトカ、  
公衆衛生員ノ問題デアルトカ、是等ノモノ  
ハ私共ハ政府ノ保健對策トシテ見ルベキモ  
ノト思ヅテ居リマス、併シ是ダケデハ到底満  
足ハ出來ナイト思フ、何カ此事變中竝ニ事  
變後特ニ根本的ノ對策問題ヲドウ云フ風ニ  
スルカ、之ニ付テ何カ政府ニ御考ガアリマ  
スルナラバ、其意見ヲ承リタイノデアリマ  
ス、其前提トシテ申上ゲタイノハ、昨年ノ此  
委員會ノ附帶決議ニ現レマシタ醫藥制度ノ調  
査會デアリマス、此醫藥制度ノ調査會ニ於テ、  
慥カ金額ハ、豫算ニアリマスノハ一万圓位ト思ツ  
テ居リマスルガ、ドウ云フ風ナ方針デ調査ヲ  
セラル、ノデアルカ、私共聞キマスルト云フト、  
醫療機關ノ普及竝ニ整理統制ノ問題、醫療  
費ノ合理化竝ニ負擔輕減問題、醫藥分業問  
題、醫業及ビ醫藥事ノ人的構成及び其教養  
ノ問題、救療制度ニ關スル問題、ソレ等ニ付  
テノ根本策ヲ調査セラル、ト聞イテ居リマ  
スルガ、其以外ニ何カ特別ニ調査スル點ハ  
アリマスルカドウカ、及ビ此調査ヲ急イデ、  
次ノ七十四議會マデニ成案ヲ得テ之ヲ提出  
スルト云フ御決心ガアリマスルカドウカ、  
又國民體力ノ管理制度、是ハ最モ必要ノ問  
題デアリマス、併シ政府ノ案ヲ見ルト云フ

ト、生レテカラ二十歳前後マデト云フ問題  
ニ限ラレテ居ルノデアリマス、而モ來年度  
ニ於テハ代表的ノ豫行調査ヲスルト云フ問  
題ノミデアリマスガ、是デハドウモ國民全  
體ノ實情調査ト云フ迄ニ行カナイノデアリ  
マス、私共ノ希望スルノハ、少クトモ國民  
ニ事變後ニ於テ兵隊ガ歸ツテ來ル、總テノ點  
ニ於テ此實情調査ト云フモノガ根本ヲ爲ス  
ノデアリマス、此實情調査ニ付テ、唯之ヲ  
生レテカラ二十前後マデト云フコトデハ不  
徹底デアル、是等ニ付テドウ云フ意見ヲ持ツ  
テ居リマスカ、或ハ公衆衛生員ノ問題デア  
リマスガ、公衆衛生員ハ是ハ最モ時宜ニ適  
シタ、私共喜ンデ居ル問題デアリマス、併シ  
是デ養成シタ者ヲ保健所ニ廻スノデゴザイ  
マセウカ、ドウモ今ノ保健所、簡易保險局  
デヤツテ居リマスル健康相談所、是ハドウシ  
カト云フ御尋ノヤウニ拜承致シマシタ、只  
今清水委員ヨリ御舉ゲニナリマシタヤウニ、  
何レモ大キナ戰爭ヲシタ後ノ體位ノ低下、  
有ユル病氣ガ蔓延致シマスト云フヤウナ點  
ニ付テハ、政府ハ早クヨリ心配致シテ居リ  
マス、厚生省ヲ獨立サセマシテ國民體位ノ  
向上ニ付テ特ニ力ヲ入レルト云フコトハ、  
一ツノ大ナル方針トシテ居ル譯デアリマス、  
随テ只今御話ノ各方面ノ豫算ニ上ゲマシタ  
ノガ、大體今日ニ於キマシテ、厚生省ガ考  
ヘテ居リマスル所ノ方針デゴザイマス、尙  
ス兵ガ多クナルニ連レテ、色々ノ病氣等ニ付  
相談所ニ於テハ診斷マデスルト云フ答辯ニ

ナツテ居ルヤウニ思ヅテ居リマス、所ガ之ヲ  
診斷マデスルナラバ、輕症患者ニ對シテハ  
處方箋ノ發行マデ何故漕付ケナイカ、是等  
所謂保健所及ビ健康相談所ノ統一竝ニ擴充  
ト云フ、問題ニ付テ、ドウ云フ風ナ考ヲ持ツ  
テ居ルカ、即チ戰後ニ於ケル保健對策ニ於  
テ、政府ガ何カ外ニ考ガアリマスルナラバ、  
ソレ等ノ點ニ付テ御伺致シタイノデアリマ  
ス  
○木戸國務大臣 只今清水サンノ御尋ノ點  
ハ、色々多岐ニ亘ツテ居リマシタガ、要スル  
ニ事變中竝ニ事變後ノ我ガ國民ノ保健ニ付  
テハ、ドウ云フ政府ハ根本對策ヲ持ツテ居ル  
カト云フ御尋ノヤウニ拜承致シマシタ、只  
トデゴザイマス、相當公衆ノ間ニ對シテモ、  
此理解ヲ與ヘナケレバナリマセヌ、其他ノ  
關係カラ致シマシテ、取敢ヘズ十三年度ニ  
於テハ是ガ準備調査ヲヤルト共ニ、民衆ニ  
對シテノ理解ヲ與ヘテ行キ、出來レバ漸次  
之ヲ強化致シマシテ、體力方面カラノ所謂  
一つノ臺帳ノヤウナモノデモ作ッテ、常ニ之ヲ  
以テ國民ノ健康ニ對スル一ツノ指針トシタ  
イト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス  
ソレカラ醫藥制度調査會ニ付キマシテ  
ハ、此前ノ御決議モアリマシタノデ、之ヲ  
十分ニ活用シテ行キタイト思ヒマス、只今  
内容ニ付テ御述ガゴザイマシタガ、大體政  
府モサウ云フ範圍ニ於テヤルコトニナラウ  
ト思ヒマスガ、尙ホ是ハ調査會デゴザイマ  
スカラ、任命セラレマシタ委員ガ色々又御  
發議モゴイマセウシ、十分ソレ等ノ御意見

テモ考ヘナケレバナリマセヌ、出來ルダケ  
此問題ニ付テハ國費トノ關係其他ヲ考慮シ  
ナケレバナリマセヌケレドモ、重要ナル政  
府ノ大キナ問題トシテ、漸次是ガ解決ニ當ツ  
テ行キタイ思ヅテ居ル譯デアリマス  
ソレカラ體力管理制度ニ付テノ御尋ガゴ  
ザイマシタガ、是モ實ハ早くヨリ日本トシ  
テモヤラナケレバナラヌ事デアッタと思フ  
ノデアリマス、何分ニモ初メテ著手スルコ  
トデゴザイマス、相當公衆ノ間ニ對シテモ、  
此理解ヲ與ヘナケレバナリマセヌ、其他ノ  
關係カラ致シマシテ、取敢ヘズ十三年度ニ  
於テハ是ガ準備調査ヲヤルト共ニ、民衆ニ  
對シテノ理解ヲ與ヘテ行キ、出來レバ漸次  
之ヲ強化致シマシテ、體力方面カラノ所謂  
一つノ臺帳ノヤウナモノデモ作ッテ、常ニ之ヲ  
以テ國民ノ健康ニ對スル一ツノ指針トシタ  
イト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス  
ソレカラ醫藥制度調査會ニ付キマシテ  
ハ、此前ノ御決議モアリマシタノデ、之ヲ  
十分ニ活用シテ行キタイト思ヒマス、只今  
内容ニ付テ御述ガゴザイマシタガ、大體政  
府モサウ云フ範圍ニ於テヤルコトニナラウ  
ト思ヒマスガ、尙ホ是ハ調査會デゴザイマ  
スカラ、任命セラレマシタ委員ガ色々又御  
發議モゴイマセウシ、十分ソレ等ノ御意見

ハ尊重シテ、出來ルモノカラ早ク着手シタ  
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイ  
マス

○清水委員 私ノ只今申シタ質問ニ付キマ

シテ、公衆衛生ニ關スル問題デ、保健所ト  
健康相談所ノ合併竝ニ擴充ノ問題ニ付テ御  
答辯ガアリマセヌデシタガ、若アレバ、政  
府委員デ結構デスカラ

○進藤政府委員 簡易保険ノ健康相談所ハ  
只今ノ所一縣ニ五箇所位ノ普及程度デアリマ  
スガ、是ハ御承知ノ通り簡易保険加入者ノ  
健康相談方目的デアリマスル、併シ簡易保険  
ノ目的ハ國民全體ヲ簡易保険ニ入レテ保険  
ノ目的ヲ満タスト云フノガ趣旨デアリマシ  
テ、現在ハマダ國民ノ三分ノ一位ノ加入者  
デアリマスルガ、段々普及致シマレバ、結局  
理想ハ國民全體ト云フコトニナルノデアリマ  
ス、隨ヒマシテ、此健康相談所ノ目的モ窮極ニ  
於テハ國民全體ノ健康増進ト云フコトニ合致ス  
ルノデアリマス、隨ヒマシテ只今御述ニナ  
リマシタヤウニ、日本國民ノ保健政策ト云  
フ點カラ、之ヲ他ノ施設ト統一シテ行ク問  
題デゴザイマスガ、是ハ理想ト致シマシテ  
ハ、目的ハ左様ニ合致スルノデアリマスカ  
ラ、今度厚生省ガ出來マシタ趣旨カラ見マ  
シテモ、一般國民ノ健康増進ニ貢獻スルヤ

ウニ考ヘテ見タイトス様ニ考ヘテ居リマス  
マスル各種ノ問題ガ起ツテ來ルノデアリマ  
ス、ソレニ對シテ二三ノ例ヲ擧ゲテ御尋致  
シタイノデアリマス

○清水委員 大體ニ於テ政府ノ意ノアル所  
マスル各種ノ問題ガ起ツテ來ルノデアリマ  
ス、ソレニ對シテ二三ノ例ヲ擧ゲテ御尋致  
シタイノデアリマス

第一ハ傷痍軍人ニ對スル處置ノ問題デア  
リマス、此傷病兵ガ戰死者ニ或ハ三倍シ或ハ  
五倍スルト云フコト、從來ノ事實ナノデア  
リマス、軍部ノ醫療機關ダケデハドウモ之  
ヲ充タスコトガ出來ナイ、何カ厚生省ト致  
ガアリマスカドウカ、先日新聞ヲ見マスル  
ト、帝國傷兵保護院ト云フ規定ヲ作ルヤウ  
ニ書イテアリマスガ、此法案ハ近ク議會ニ  
提出スル御考デアリマスカドウカ、此點ヲ  
ガアリマスカドウカ、先日新聞ヲ見マスル  
トカ、或ハ一般國民ノ體位ガ低下スル問題  
トカ、或ハ事變中及ビ事變後ニ  
於ケル出生率ノ減少スル點デアルトカ、死  
亡率ノ增加スル點、是等ノ點色々ゴザイマ  
スガ、是等ニ付テニ御尋致シタイガ、他  
ノ質問者モ多イヤウデアリマスカラ、是ハ  
若シ他日他ノ諸君ノ質問ガナカッタ時ニハ  
承ルコトニ致シマス

○木戸國務大臣 傷痍軍人ニ對シマスル各  
種ノ對策ニ付キマシテハ、傷痍軍人保護對  
策審議會ト云フモノヲ政府ニ作リマシテ、  
第一ニ政府ヨリ諮詢問致シマシタ案が最近決  
定致シタ次第デアリマス、其中ニ只今御話  
ノ傷痍軍人殊ニ病氣デ歸ツテ來テ居リマス  
者ニ付テモ、例ヘバ結核デアルトカ、サウ  
云タヤウナ者ノ療養ヲ致シマス所ノ設備、  
サウ云フヤウナモノニ付テモ考慮スルト云

フ方針ニナツテ居リマス、ソレデ只今御話ニ  
ナリマシタ傷兵保護院ト云フ案モ、是ハ一  
ツノ例トシテ参考ニ其委員會デモ決定致シ  
タルコトニ研究致シテ居ル譯デアリマス、  
其外はガ決リマシテ執行事項ニ付キマシテ  
ハ至ニ取纏メマシテ本議會ニ間ニ合フヤ  
ウニ提出スル準備ニ今著手中デゴザイマス

○清水委員 事變關係カラ申シマシテ例ヘ  
テ言ヘバ性病デアルトカ、結核患者デアル  
トカ、或ハ一般國民ノ體位ガ低下スル問題  
トカ、或ハ事變中及ビ事變後ニ  
於ケル出生率ノ減少スル點デアルトカ、死  
亡率ノ增加スル點、是等ノ點色々ゴザイマ  
ス、即チ醫療ノ統制、合理化ヲ斷行スルト  
云フモノハ、或ハ團體主義綜合的開業醫制  
度ニ改メナケレバナラヌト思フノデアリマ  
ス、即チ醫療ノ統制、合理化ヲ斷行スルト  
云フコトガ、今日ニ於ケル最モ必要ナ問題  
ト思フノデアリマス、今日ノ開業醫ト云フ  
モノハ、事實仁術トハ申シマスルガ、營利  
ニ傾イテ居ルノデアリマス、是ハ患者ガ來  
ナケレバ生活ガ出來ナイ現在ノ制度ニ於テ  
ハ、所謂開業醫ガ營利ニ傾クト云フコトハ  
拒ムコトノ出來ナイ事實デアリマス、醫者  
ニ慈善事業ヲ強ヒルト云フコトハ、寧ロ是  
ハ無理ナノデアリマス、獨逸ニ於キマシテ  
ハ、戰後醫師法ノ改正ヲ行ヒマシタ、我國ニ  
於テモ今後ノ一番重大ナ問題ハ醫師法ノ改  
正デゴザイマスルガ、政府ハ醫藥制度ノ調  
査會ノ中ニ於テ醫師法ノ改正ト云フコトヲ  
何等明記シテ居ラヌヤウデアリマス、所謂

リマス、今日ノ開業醫ハ所謂患者ノ發生ヲ  
俟ツテ初メテ其實力ヲ示スモノナノデアリマ  
ス、今後ノ醫者ト云フモノハ、醫者對患者  
ノ間ニ限定スベキモノデハアルマイト思フノ

デアリマス、國民一般ノ日常生活ニ留意致  
シマシテ、國民大眾ノ利益幸福ノ爲メ特ニ保健  
衛生ノ爲ニ助力セシメナケバナラヌノデアリマ  
ス、即チ現在ノ個人主義、自由主義ノ下ニ立脚  
シテ制定セラレテ居リマスル開業醫制度ト  
ス、即チ醫療ノ統制、合理化ヲ斷行スルト  
云フモノハ、或ハ團體主義綜合的開業醫制  
度ニ改メナケレバナラヌト思フノデアリマ  
ス、即チ醫療ノ統制、合理化ヲ断行スルト  
云フコトガ、今日ニ於ケル最モ必要ナ問題  
ト思フノデアリマス、今日ノ開業醫ト云フ  
モノハ、事實仁術トハ申シマスルガ、營利  
ニ傾イテ居ルノデアリマス、是ハ患者ガ來  
ナケレバ生活ガ出來ナイ現在ノ制度ニ於テ  
ハ、所謂開業醫ガ營利ニ傾クト云フコトハ  
拒ムコトノ出來ナイ事實デアリマス、醫者  
ニ慈善事業ヲ強ヒルト云フコトハ、寧ロ是  
ハ無理ナノデアリマス、獨逸ニ於キマシテ  
ハ、戰後醫師法ノ改正ヲ行ヒマシタ、我國ニ  
於テモ今後ノ一番重大ナ問題ハ醫師法ノ改  
正デゴザイマスルガ、政府ハ醫藥制度ノ調  
査會ノ中ニ於テ醫師法ノ改正ト云フコトヲ  
何等明記シテ居ラヌヤウデアリマス、所謂



成ベクサウ云フ方向ニ向ツテ行クコトハ吾々  
モ非常ニ望マシイコト考ヘテ居リマス、  
只今私ハ特別ナ對策ハ持ツテ居リマス、  
成ベクサウ云フ方面ニ努力シタイト考ヘテ  
居リマス、厚生省所管ニゴザイマス公衆衛  
生院等ガ今後ニ設置致サレル時ニ當リマシ  
テハ、所謂開業醫デナイ例ヘバ水道ノ問題  
デアルトカ、其他ヲ含メテ人間ヲ養成スル  
ヤウナ途モ出來テ居リマス、甚ダ規模ハ大  
キクアリマセヌガ、サウ云々タ方面ノ人間モ  
養成シテ、漸次其方面ノ需要ニ當テ、行キ  
タイト考ヘテ居リマス

○清水委員 大分此保険法案ト直接關係ナ  
イコトヲ御伺致シマシタガ、是カラ健康保  
險ニ直接關係アル問題ニ付テ簡単ニ二三御  
伺致シマス

健康保險ニ付テ今日二ツノ流レガアルノ  
デアリマス、一つハ獨逸流デアリマス、一  
ツハ丁抹流ナノデアリマス、獨逸ハ千八百  
八十九年カラ國民健康保險ト云フモノヲ國  
家直營ノ下ニ實行セラレタノゴザイマス  
ルガ、其特筆スル所ハ疾病手當ヲ貴ヒ、生  
活ノ保障ヲシテ貴ヒ、政府ノ補助金ニ俟ツ、  
事業主ト労働者トガ兩方トモ三分之ツ賃銀ヲ  
積立テ居ルノデアリマス、隨テ獨逸ニ於  
ケル國民健康保險ノ實際ヲ見マスルト、病

氣ニ罹ラナケレバ損ダト云フヤウナ觀念ヲ  
被保險者ガ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ日  
本ノ現行健康保險ニ於テモ能クアルヤウ  
ニ、被保險者ト保險醫トノ馴レ合、談合ガ行ハ  
レルノデアリマス、即チ一週間デ癒ルベキ  
病氣ヲ一月掛リ、二月掛リ、其間ノ手當ヲ  
貰ヒ休ム、是ハ労働者側ニ於テモ缺陷モア  
リマスシ、資本家側ニモアリマスシ、不景氣  
ノ時ナドニナリマスト、資本家ガ仕事ガ足  
ラヌ、月給ハヤルノハ苦シイト云フ風デ、  
病氣ニカコ付ケテ保險ノ方カラノ金ヲ支給  
シテサウシテヤツテ居ル狡猾ナ事業主モア  
ルノデアリマス、獨逸ナドノ實情ヲ見マスト、  
ドウモ「クリスマス」病ト云フモノガアル、私  
共獨逸ニ行キマストヨク「クリスマス」病ト云フ  
モノヲ聞ク、ヲカシイナト思フガ、所謂被保  
險者ガ「クリスマス」ノ時ニ遊ビタイト思フト  
保険醫ト馴合ヒマシテ特ニ病氣ヲ作ッテ、獨  
逸ニハ日本ト違ヒマシテ温泉其他ノ療養所  
ガアリマス、是等ニ遊び行ク、「クリスマス」  
「」ノ時ニハ患者ガ多イ、所謂「クリスマス」病  
ト云フモノガ保險ニ伴フ弊害ニナッテ居ル  
ノデアリマス、是等ノ弊害ヲ考ヘマシテ丁  
抹ニ於テハ制度ヲ改メタノデアリマス、所  
謂丁抹ノ制度ハ傷病手當全部ヲ無料トハシ  
ナイ、所謂藥壇ノ代ヲ拂ハセルトカ、藥價

ノ一割ヲ拂ハセルトカ、丁度今日日本ノ健  
康保險ニ於テヤテ居リマス、日本ノ現行  
保険法ハ獨逸式デヤツテ居リマスガ、  
所ノ保険法ハ獨逸式デヤツテ居リマスガ、  
ニ、被保險者ト保險醫トノ馴レ合、談合ガ行ハ  
レルノデアリマス、即チ一週間デ癒ルベキ  
病氣ヲ一月掛リ、二月掛リ、其間ノ手當ヲ  
貰ヒ休ム、是ハ労働者側ニ於テモ缺陷モア  
リマスシ、資本家側ニモアリマスシ、不景氣  
ノ時ナドニナリマスト、資本家ガ仕事ガ足  
ラヌ、月給ハヤルノハ苦シイト云フ風デ、  
病氣ニカコ付ケテ保險ノ方カラノ金ヲ支給  
シテサウシテヤツテ居ル狡猾ナ事業主モア  
ルノデアリマス、獨逸ナドノ實情ヲ見マスト、  
ドウモ「クリスマス」病ト云フモノガアル、私  
共獨逸ニ行キマストヨク「クリスマス」病ト云フ  
モノヲ聞ク、ヲカシイナト思フガ、所謂被保  
險者ガ「クリスマス」ノ時ニ遊ビタイト思フト  
保険醫ト馴合ヒマシテ特ニ病氣ヲ作ッテ、獨  
逸ニハ日本ト違ヒマシテ温泉其他ノ療養所  
ガアリマス、是等ニ遊び行ク、「クリスマス」  
「」ノ時ニハ患者ガ多イ、所謂「クリスマス」病  
ト云フモノガ保險ニ伴フ弊害ニナッテ居ル  
ノデアリマス、是等ノ弊害ヲ考ヘマシテ丁  
抹ニ於テハ制度ヲ改メタノデアリマス、所  
謂丁抹ノ制度ハ傷病手當全部ヲ無料トハシ  
ナイ、所謂藥壇ノ代ヲ拂ハセルトカ、藥價

ノ一割ヲ拂ハセルトカ、丁度今日日本ノ健  
康保險ニ於テヤテ居リマス、日本ノ現行  
保険法ニ於テモヤツテ居リマス、日本ノ現行  
保険法、所謂職工竝ニ坑夫等ニ關ス  
ノ健康保險法、所謂職工竝ニ坑夫等ニ關ス  
ル所ノ保険法ハ獨逸式デヤツテ居リマスガ、  
ニ、被保險者ト保險醫トノ馴レ合、談合ガ行ハ  
レルノデアリマス、即チ一週間デ癒ルベキ  
病氣ヲ一月掛リ、二月掛リ、其間ノ手當ヲ  
貰ヒ休ム、是ハ労働者側ニ於テモ缺陷モア  
リマスシ、資本家側ニモアリマスシ、不景氣  
ノ時ナドニナリマスト、資本家ガ仕事ガ足  
ラヌ、月給ハヤルノハ苦シイト云フ風デ、  
病氣ニカコ付ケテ保險ノ方カラノ金ヲ支給  
シテサウシテヤツテ居ル狡猾ナ事業主モア  
ルノデアリマス、獨逸ナドノ實情ヲ見マスト、  
ドウモ「クリスマス」病ト云フモノガアル、私  
共獨逸ニ行キマストヨク「クリスマス」病ト云フ  
モノヲ聞ク、ヲカシイナト思フガ、所謂被保  
險者ガ「クリスマス」ノ時ニ遊ビタイト思フト  
保険醫ト馴合ヒマシテ特ニ病氣ヲ作ッテ、獨  
逸ニハ日本ト違ヒマシテ温泉其他ノ療養所  
ガアリマス、是等ニ遊び行ク、「クリスマス」  
「」ノ時ニハ患者ガ多イ、所謂「クリスマス」病  
ト云フモノガ保險ニ伴フ弊害ニナッテ居ル  
ノデアリマス、是等ノ弊害ヲ考ヘマシテ丁  
抹ニ於テハ制度ヲ改メタノデアリマス、所  
謂丁抹ノ制度ハ傷病手當全部ヲ無料トハシ  
ナイ、所謂藥壇ノ代ヲ拂ハセルトカ、藥價

將來トモスウ云フ方面ニハ力ヲ成ベク入レ  
タイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○清水委員 此法規ノ慥カ四十六條ト思ヒ  
マシタガ、先日本會議ニ於ケル中村梅吉君

ノ質問ニ對シマシテ、厚生大臣ハ、醫藥給付ノ問題ニ付キマシテ、地方長官ノ認可ニ付テ、地方長官ハ委員會ノ意見ヲ徵シテ、所謂組合ノ自由選擇ヲ制限スル意思ハナイ、自由選擇確保ノ必要ヲ感ジテ居ルト云フコトヲ言明サレタノデアリマスルガ、例ヘテ見レバ組合ノ自意ニ於キマシテ專屬醫ヲ置ク、專屬醫ヲ置イテ處方箋ヲ發行スルト云フコトヲ此保険組合ノ組合規約ニ入レマシテ之ヲ地方長官ニ提出スル、委員會ニ於テ反對ノナカッタ場合ニ於テハ、ソレデモ差支ナイト云フ風ニ御考ニナツテ居リマスルカドウカ、此實際問題ニ對シテ御伺ヒ致シマス、即チ御分リ惡ケレバ今一應申上ガマスルガ、此保險組合ニ於キマシテ、組合ノ規約ノ中ニ專屬醫ヲ置クト云フコトヲ入レル、サウシテ專屬醫ヲ置イテ、其專屬醫ノ處方箋ニ依ツテ、或ハ專屬醫ナリ或ハ他ノ藥劑師ナリカラ藥ヲ貰フ、之ヲ組合ノ規定ニ入レル、規定ニ入レテ、地方長官ニ認可ヲ申請スル、地方長官ハ此場合ニ、此委員會ニ諮詢致シマスルガ、委員會ニ於テ差支ナイト

シタナラバソレヲ許スト云フ方針ニナツテ居リマスカドウカ、此具體問題ニ付テ一ツ

○木戸國務大臣 只今ノ具體的ノ問題ハ其時ニナツテ見ナイトハッキリトシタコトハ申シ上ゲラレナイト思ヒマスガ、大體ニ於キ

マシテ醫師ノ自由選擇ヲ認メル、成ベク廣イ範圍ニ於テ、例ヘバ一つノ町村ノ者ガ、アノ醫者ニ診テ貰ヒタイト云フヤウナ場合ニハ其醫者ニ診セルト云フコトガ方針デゴザイマス、隨テサウ云フ場合ハ大體ハアリ得ナイ、併シ例ヘバ其町ニタツタ一人醫者ガ居ル、ソレノ生活問題ト云フコトガアツテ、

其町ノ者ナリ村ノ者モソレヲ希望シテ居ルヤウナ場合、ソレヲ認可シナイトハ申シマセヌガ、大體ハ廣イ範圍ニ於テ醫師ノ自由選擇ヲ認メルコトガ方針ニナツテ居リマス、サウ云フコトハ極メテ例外デアラウト思カ、或ハ專屬醫ヲ置カセナイデ開業醫ニノミヤラセルトカ云ツタヤウニ、ハッキリシタ割一的ノ方針デ臨マヌ方ガ宜イ、斯様ニ考之ヲ行ハナイ場合ニハ醫藥ノ分業ト云フモノハ難カシイノデアリマス、醫藥分業、是ヘテ居リマス、隨ヒマシテ地方ノ狀況ニ依リマシテ專屬醫ガアル場合デモ、マア成ベク其地方ノ圓滿ヲ害セヌヤウニ開業醫ノ方モ入レテ、何處ニデモ被保健者ガ選擇シテ

シタナラバソレヲ許スト云フ方針ニナツテ居リマスカドウカ、此具體問題ニ付テ一ツ御伺致シマス

○木戸國務大臣 只今ノ具體的ノ問題ハ其時ニナツテ見ナイトハッキリトシタコトハ申シ上ゲラレナイト思ヒマスガ、大體ニ於キマシテ醫師ノ自由選擇ヲ認メル、成ベク廣イ範圍ニ於テ、例ヘバ一つノ町村ノ者ガ、アノ醫者ニ診テ貰ヒタイト云フヤウナ場合ニハ其醫者ニ診セルト云フコトガ方針デゴザイマス、隨テサウ云フ場合ハ大體ハアリ得ナイ、併シ例ヘバ其町ニタツタ一人醫者ガ居ル、ソレノ生活問題ト云フコトガアツテ、

其町ノ者ナリ村ノ者モソレヲ希望シテ居ルヤウナ場合、ソレヲ認可シナイトハ申シマセヌガ、大體ハ廣イ範圍ニ於テ醫師ノ自由選擇ヲ認メルコトガ方針ニナツテ居リマス、サウ云フコトハ極メテ例外デアラウト思カ、或ハ專屬醫ヲ置カセナイデ開業醫ニノミヤラセルトカ云ツタヤウニ、ハッキリシタ割一的ノ方針デ臨マヌ方ガ宜イ、斯様ニ考之ヲ行ハナイ場合ニハ醫藥ノ分業ト云フモノハ難カシイノデアリマス、醫藥分業、是ヘテ居リマス、隨ヒマシテ地方ノ狀況ニ依リマシテ專屬醫ガアル場合デモ、マア成ベク其地方ノ圓滿ヲ害セヌヤウニ開業醫ノ方モ入レテ、何處ニデモ被保健者ガ選擇シテ

○清水委員 是ハ小ナルヤウナ問題デ實ハ重大問題ナノデアリマス、例ヘテ見ルト、

○進藤政府委員 其問題ニ付キマシテハ只今大臣モ申上ゲマシタヤウニ、政府トシマニヤツテ行カウト云フコトデアリマシテ、政府トシテ專屬醫ヲ置イテソレニヤラセルトカ、或ハ專屬醫ヲ置カセナイデ開業醫ニノミヤラセルトカ云ツタヤウニ、ハッキリシタ割一的ノ方針デ臨マヌ方ガ宜イ、斯様ニ考之ヲ行ハナイ場合ニハ醫藥ノ分業ト云フモノハ難カシイノデアリマス、醫藥分業、是ヘテ居リマス、隨ヒマシテ地方ノ狀況ニ依リマシテ專屬醫ガアル場合デモ、マア成ベク其地方ノ圓滿ヲ害セヌヤウニ開業醫ノ方モ入レテ、何處ニデモ被保健者ガ選擇シテ

○清水委員 是ハ小ナルヤウナ問題デ實ハ重大問題ナノデアリマス、例ヘテ見ルト、

○進藤政府委員 大體ニ於テ趣旨ハ組合ノ

地方長官ノ方カラソレハイケナイ、ヤハリ  
被保險者ヲシテ一般ノドノ醫者ニデモ選擇  
シテ掛レルヤウニ廣クスルヤウニ指令シテ  
ヤツテ行カセル積リデアリマス

○清水委員 此問題ハ一面ニ於テハ非常ニ  
經費ノ關係モ持ツノデアリマシテ、開業醫  
ニ任セルト云フトツヒ醫療費ガ高ク、專  
屬醫ヲ置イテヤルト安クアルト云フ點モア  
リマスルノデ、保險ノ根本問題ニモ影響ス

ルノデアリマス、殊ニ分業問題ニハ重大ナ  
ル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、十分  
此點ニ付テハ御考慮ヲ願ヒタイト思ッテ居  
リマス、何レスウ云フ點ニ付テハ他ノ諸君  
カラモ御質問モアリマセウカラ、ソレヲ承ッ  
タ上デ又改メテ私質問ヲスル場合ガアルカ  
モ知レマセヌ

次ニ私御伺致シタイノハ醫師會トノ團體  
契約ノ問題デゴザイマスガ、是ハ前議會ニ  
於テモ非常ニ議論ニナックタノデアリマス、所  
謂日本醫師會トノ團體契約ヲ法文化サヌト  
云フコトニ付テハ私聽イテ居リマシタ、併  
シ組合ガ縣郡市ノ醫師會、區ノ醫師會ト契  
約スルコトニ於テハ從來ト同ジヤウニ變リ  
ガナイト云フ御考デアリマスカドウカ、ソ  
レヲ御伺致シマス

○進藤政府委員 只今ノ御質問ハ代行ハ醫  
療組合ニ限ルカドウカト云フコトデゴザイ

マスルガ、注文ノ字句ガドウ變ツテ居リマシ  
タニシマシテモ、實際問題トシテハ大體醫  
療組合ト云フモノヲ豫想シテ居リマスガ、  
唯ソレダケカト云フコトニナリマスト、他  
ニ漁業組合等ニモ一二該當スルモノガアリ  
ハシナイカト思ヒマス、ソレデ醫療利用組  
合ニノミ限ルト云フコトデアリマセヌデ、公  
益法人デアツテ醫療ノ施設ヲヤツテ居リマス

ハ從來ト變リナイノデアリマス

○清水委員 次ニ問題ノ代行問題ニ付テ一  
寸御伺シタイノデゴザイマス、此醫療利用  
組合ノ代行問題ニ付テハ、是ハ高田委員其

他カラ詳シク御質問ガアルト思ヒマスルカ  
ラ、私ハ自分ノ質問ハ之ヲ讓歩シテ置キマ  
スガ、前議會ニ於テ本會議ノ私ノ質問ニ對シ  
マシテ河原田内務大臣ヘ代行ヲ許スノハ醫  
療利用組合ニ限定スルト云フコトヲ申サ  
レタノデアリマス、所ガ最近新聞ヲ見マス  
ルト、漁業組合ニモ代行セシムルト云フヤ  
ウナコトガ書イテアリマシタガ、ヤハリ代  
行ト云フモノハ醫療利用組合ニノミ限定ス  
ル考デアルカ、或ハ之ヲ代行スルノハ外ノ  
組合モアルカドウカ、此點ヲ明ニシテ置キ  
タイノデアリマス

○進藤政府委員 只今ノ御質問ハ代行ハ醫  
療組合ニ限ルカドウカト云フコトデゴザイ  
ス

云フ御話ガアツタサウデゴザイマスガ、其二  
十ト云フコトモヤハリ大臣ガ仰セラレタ通  
リ正確ノ數デモナカツサウデアリマスガ、  
今日ニ於キマシテモ其當時ト非常ナ差ハナ  
イダラウ、併シ二十ガ正シイカドウカハ是  
ハ分リマセヌガ、當時ヨリモ非常ニ殖エテ  
居ル、條件が變ル爲ニ非常ニ殖エルト云フ  
ヤウナコトハナイモノト想像致シテ居リマ  
ス

○清水委員 前七十議會ニ於キマスル當時  
ハ三月三十一日現在ト云フコトデ、今回ハ

付テ伺ヒマセヌガ、前議會ニ於ケル三月三  
十一日ト云フ程度ニ於キマシテハ約二十位  
ノ代行機關ト云フコトヲ私共聞イテ居リマ  
シタ、今回是ガ列舉主義ニナリマシテ、サ  
ウシテ代行ヲ許ス場合ニ於テハ政府ハ大凡  
ドノ位ノ組合ニ御許シニナル御考デアルカ、  
ドノ位ノ組合ガ許サレルダケノ條件ヲ持ツ  
テ居ルカ、此點ヲ御伺致シタイノデアリマ  
ス

○清水委員 今一點御伺致シマシテ私ノ質  
問ハ大體ノコトハ終了致シタイト思ヒマス、  
次ニ御伺致シタイノハ、賣藥給付ノ問題デ  
アリマス、賣藥制度全般ニ瓦リマシテ私ハ  
十五箇條四十九箇項目ニ瓦ツテ質問書ヲ出  
シタノデアリマス、此質問書ニ對シマシテ  
ハ政府カラ速ニ書面答辯ヲ希望スルノデア  
リマス、政府ノ書面答辯ニ依リマシテ私ノ  
満足ノ出來ナイ程度デアリマスレバ、更ニ  
質問スル積リデゴザイマスガ、此質問ニ對  
シテハ至急ニ書面答辯ヲ御願致シタイノデ  
アリマス

○進藤政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシ  
テハ實ハ是カラ此法律ガ通リマシタ上デ定  
メラレル條件ニ該當シテ居ルモノヲ實際ニ  
調べテ、其中デ年々必要ナモノヲ許シテ行  
クノデアリマシテ、只今ノ所私共ノ手許ニ  
於テドレダケノ數ノモノガ其條件ニ嵌ツテ  
居ルカト云フコトハ實ハ調べテ居リマセヌ、  
ソレデ昨年、當時ノ大臣ノ答辯ニ二十位ト

モノガアレバ、他ノ種類ノ組合デモ宜イ、  
斯ウ云フノデアリマス、事實問題トシマシ  
テハサウ云フモノハ稀ダ、斯ウ云フ風ニ考  
ヘテ居リマス

問ニ對シテノ河原田内務大臣ノ答辯ト同一デ

ゴザイマス、更ニ之ヲ給付セシメナイナラ

バ、此規定ノ中ニ給付セシメナイナラ

トヲ法文化スル考ガアルカドウカ、唯大臣

ガ言明シタダケデ以テ次ノ當事者ガ送リ、

是ガ又グラニナッテハ問題デアリマス、

故ニ法文ノ中ニ之ヲ明記セシムルダケノオ

考アリヤ、大臣ノ思ツタ通リ其儘法文ニ明記

出來ルカ出來ナイカ、此點ヲオ伺シタイ次

第デアリマス

○進藤政府委員 賣藥ノ給付ヲ爲サシメナ

イト云フコトハ、法律又ハ命令ノ方ニハア

リマセヌガ、規約ノ方ニハッキリ明記スル、

規約例ニ依ツテ、是ガ準則ヲ決メテアリマ

ス

○清水委員 サウシマスト、規約ノ中ニ賣

藥ハ給付シナイト云フコトヲ書イテナイ組

合ハ、之ヲ認可シナイト云フ根本方針ガ決ッ

テ居ルノデアリマセウカ、之ヲ同致シマ

ス

○進藤政府委員 認可シナ一方針デアリマ

ス

○清水委員 大體私ノ質問ハ此程度ニシ

テ、何レ又他ノ委員ノ質問ニ對シマシテ、

關聯事項が起リマシタラ、オ許シラ願ヒマ

ス

○添田委員長 世耕君

○世耕委員 私ハ本案ニ對シテ、關係アル

荒筋ダケヲ、今日オ尋シテ置キタイト思フ

ノデアリマス、先づ第一ニ、本案ト最モ關係

ノ深イ一般ノ生命保險ト此國民健康保險ト

ノ問題デアリマスガ、將來厚生省ハ、生命

保險ニ對スル問題ヲドウ處理ナサル積リデ

アルカ、所謂生命保險ヲバ國營トスル積リ

カドウカ、若シ其意思ガナケレバ、其理由竝

ニ根據如何ト云フコトヲ、最初ニ承ッテ置キ

タイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ生命保險ニ對シマ

シテ、厚生省ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ

ト云フコトデゴザイマスガ、生命保險ニ對

シマシテハ、現在ハ是ハ商工省ノ所管ニナッ

テ居リマス、併ナガラ簡易保險其他社會保

險トハ極メテ密接ナル關係デアリマスルノ

デ、例ヘバ簡易保險ノ引上ノ問題デアルト

カ、其他色々ナ事項ニ付キマシテ、又生命保

險ノ資產運用其他ニ付キマシテ、厚生大臣

ハ商工大臣ト共ニ、是ガ監督ニ當ルト云フ

コトニ致シテ居リマスルノデ、生命保險ト

厚生省ガ持ツテ居リマス保険各般トノ間ニ

ハ、極メテ密接ナル連絡ト協調ヲ取ッテ行

ク考ニ致シテ居リマス

○世耕委員 結局、是ハ國營トスル意思ノ

ナイト云フコトニ、解釋シテ差支アリマセ

スガ、備テ此案ノ中デ私達ガ如何ニモ意外

ニ思ヒマスノハ、此組合ニ對スル補助ガ、

十三年度ニ僅カ總額十六万六千六百六十六

圓ト云フ少額デアリマス、之ヲ承ッテ見マ

スト、初年ハ四箇月間デアツテ、五十万人ノ

豫定デ之ヲ補助スルト云フ御意見ノヤウデ

アリマシタバ、斯ウ云フ少額ナ金額デアリ

マシタナラバ、イツノ時代ガ來タナラバ、

シテ、厚生省ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ

トコロガ只今大臣ヘ御退席ニナッタヤウデ

ゴザイマスカラ、大臣ノ御出席ヲ俟ッテ質

策ニ付テ、オ尋シタイ積リデアリマシタ、

タイコトハ、今後ノ厚生省ノ執ルベキ重要

問題スルコトニ致シマシテ、本日ハ私ハ留保

致シテ置キマス

○添田委員長 大臣ニ對スル御質問ハ留保

セレテモ、其他ノ政府委員ニ對スル御質問

ガアレバ、此際オ願シマス

○世耕委員 アリマセス

○添田委員長 ソレデハ松田喜三郎君

○松田委員 此保險制度ト云フモノハ、洵

ニ時宜ニ適シタモノデアリマシテ、農山漁

村住民ノ健康ヲ保持シ、或ハ傷病ニ對スル保險

ヲ思ッテ居リマス、社會政策上ヨリシテモ私

達ハ本案ノ出マシタコトヲ喜ブノデアリマ

スガ、備テ此案ノ中デ私達ガ如何ニモ意外

ニ思ヒマスノハ、此組合ニ對スル補助ガ、

十三年度ニ僅カ總額十六万六千六百六十六

圓ト云フ少額デアリマス、之ヲ承ッテ見マ

スト、初年ハ四箇月間デアツテ、五十万人ノ

豫定デ之ヲ補助スルト云フ御意見ノヤウデ

アリマシタバ、斯ウ云フ少額ナ金額デアリ

マシタナラバ、イツノ時代ガ來タナラバ、

シテ、厚生省ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ

トコロガ只今大臣ヘ御退席ニナッタヤウデ

ゴザイマスカラ、大臣ノ御出席ヲ俟ッテ質

策ニ付テ、オ尋シタイ積リデアリマシタ、

タイコトハ、今後ノ厚生省ノ執ルベキ重要

問題スルコトニ致シマシテ、本日ハ私ハ留保

致シテ置キマス

○添田委員長 大臣ニ對スル御質問ハ留保

セレテモ、其他ノ政府委員ニ對スル御質問

ガアレバ、此際オ願シマス

○世耕委員 アリマセス

○添田委員長 ソレデハ松田喜三郎君

○松田委員 此保險制度ト云フモノハ、洵

ニ時宜ニ適シタモノデアリマシテ、農山漁

村住民ノ健康ヲ保持シ、或ハ傷病ニ對スル保險

ヲ思ッテ居リマス、社會政策上ヨリシテモ私

達ハ本案ノ出マシタコトヲ喜ブノデアリマ

スガ、備テ此案ノ中デ私達ガ如何ニモ意外

ニ思ヒマスノハ、此組合ニ對スル補助ガ、

十三年度ニ僅カ總額十六万六千六百六十六

タカ、如何ニ國民ガ之ヲ希望シテ居ル力ト云フコトハ、定メシ政府モ御存ジデアラウト思ヒマス、ソレニ斯ノ如キ僅少ナル額ヲ御計上ニナッタト云フコトハ、如何ナル御考デアルカ、其點ヲ先ツ御伺致シタイノデアリマス

○進藤政府委員 御説ノ通り、國民健康保険法ノ實施へ目下ノ急務デアリマシテ、モ仰セノ通リデアリマス、然ルニ豫算ガ甚ダ少イデハナイカト云フ御質問ニ付キマシテハ、是ハ一面財政上ノ關係カラデアリマシテ、實ハ前ノ議會ニ出シマシタ時ノ豫算其儘デアリマスガ、其後ニ事變ガ起リ、又社會ノ情勢ハ一層此制度ノ實施ノ急務ヲ認メマスノデ、吾々ト致シマシテハ、大藏省ニ對シ現在ノ豫算ヲ増額スルコトニハ相當努力致シタノデアリマスガ、併ナガラ財務當局ニ於キマシテモ、時局柄、他ニ澤山經費ノ要ルコトガアリマシテ、ドウシテモ難カシイト云フコトデ、遺憾ナガラ増額ノ要求ヲ容レルコトガ出來ナカッタノデアリマシテ、此點ハ私共ト致シマシテハ非常ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、唯初年度ニ付キマシテハ實ハ實施準備其他組合ノ設立

ナケレバナラヌ事柄ガアリマスノデ、實ハ  
初年度ト致シマシテハ只今ノ所五十万圓程  
度、組合ガ百二十、其程度デヤッテ行クノガ  
宜クハナイカト考ヘテ居リマス、來年度ニ  
付キマシテハ、是ハ前議會ノ時ニ計畫致シ  
マシタヨリヘ、モット殖ヤシマシテ、次年度

○進藤政府委員 實ハ内輪ノコトデゴザイ  
マスガ、申上げテ置イタ方ガ宜イト思ヒマ  
ス、昨年議會ニ出シマシタ時ノ大藏省トノ  
交渉ハ、大體三年間ニ三百万圓程度ト云フ  
ヤウナコトデ話ガ進シデ居ツクノデアリマス  
ス、ソレデ初年度ハ十六万圓デアリマスル  
ガ、次年度ハ百万圓位、其次ハ二百万圓程  
度、其次ハ三百万圓位、斯ンナ風ナ豫想デ  
アッタノデアリマス、ソレデ十年間位ニ大體

○進藤政府委員 事實申請ニ對シテドウ云  
フ風ナ方針デ設立ヲ認可シテ行クカト云フ  
御尋デゴザイマスルガ、簡單ニ申シマスレ  
バ最モ必要ノ切實ナモノカラ認メテ行クト  
云フコトニ盡キルノデアリマスルガ、何ト  
申シマシテモ初年度ハ十六万何千圓、組合  
ニ致シマシテ百二十デアリマスカラ、各縣  
ニ三ツニ足ラヌ位デアリマス、隨ヒマシテ  
マア初年度ト致シマシテハ必要ノ切實ナモノ  
ノヲ採ル、一縣ニ二ツ乃至三ツ位ハ是非配  
付ラシタイ、同時ニ切實ノ所ニハ三ツ以上  
行クヤウニシタイ、サウ云フヤウナ肚積リ  
デアリマス

ナケレバナラヌ事柄ガアリマスノデ、實ハ  
初年度ト致シマシテハ只今ノ所五十万圓程  
度、組合ガ百二十、其程度デヤッテ行クノガ  
宜クハナイカト考ヘテ居リマス、來年度ニ  
付キマシテハ、是ハ前議會ノ時ニ計畫致シ  
マンタヨリハ、モット殖ヤシマシテ、次年度  
以後ヘ大イニ促進スルヤウニ致シタイ、斯  
ウ考ヘテ居リマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス

○進藤政府委員 實ハ内輪ノコトデゴザイ  
マスガ、申上ゲテ置イタ方ガ宜イト思ヒマ  
ス、昨年議會ニ出シマシタ時ノ大藏省トノ  
交渉ハ、大體三年間ニ三百万圓程度ト云フ  
ヤウナコトデ話ガ進ンデ居ツクノデアリマ  
ス、ソレデ初年度ハ十六万圓デアリマスル  
ガ、次年度ハ百万圓位、其次ハ二百万圓程  
度、其次ハ三百万圓位、斯ンナ風ナ豫想デ  
アッタノデアリマス、ソレデ十年間位ニ大體  
目的ヲ達シタイ、之ガ去年ノ案デアリマ  
ス、今年ハ次年度以降ニ付テハマダ約束ヲ  
致シテ居ラヌノデアリマス、ソレデ先程申  
シマシタヤウニ來年度ニ至リマシテ、次年  
度以降ハ此計畫ヨリモモット増額シテ極力  
普及ノ時期ヲ早クシタイ、出來得レバ十箇  
年ニヤルベキコトヲ五年位デヤリタイ位ナ  
氣持ヲ持ツテ居リマス、ドレダケノ額ヲ來年  
出スカト云フコトニ付テハモウ暫ク御猶豫  
ヲ御願致シタイト思ヒマス

○進藤政府委員 事實申請ニ對シテドウ云  
フ風ナ方針デ設立ヲ認可シテ行クカト云フ  
御選擇ノ方法ヲ執ラレルカ、之ヲ承リタイ  
ナルト云フコトニナリマスレバ、ドウ云フ  
御選擇ノ方法ヲ執ラレルカ、之ヲ承リタイ  
云フコトニ盡キルノデアリマスルガ、何ト  
申シマシテモ初年度ハ十六万何千圓、組合  
ニ致シマシテ百二十デアリマスカラ、各縣  
ニ三ツニ足ラヌ位デアリマス、隨ヒマシテ  
マア初年度ト致シマシテハ必要ノ切實ナモ  
ノヲ採ル、一縣ニ二ツ乃至三ツ位ハ是非配  
付ヲシタイ、同時ニ切實ノ所ニハ三ツ以上  
行クヤウニシタイ、サウ云フヤウナ肚積リ  
デアリマス

ノ少イ爲ニヤリ惡イコトハ覺悟致シテ居リマスガ、初年度ハ實ハ事業ノ「スタート」デアリマシテ、一番大事ナ時デアリマス、其必要ナモノ、良イモノノ中モ選リニ選ッタ模範的ノモノヲ作ル、最初ハ最モ完全ナモノヲ作ル、サウシテ立派ナ成績ヲ擧ゲテ行クト云フヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○松田委員 其邊モ能ク判リ掛ケマシタガ、儲テ此費用ハ約五十万圓、三分ノ一ノ十六

万圓ト云フモノガ補助デアル、三分ノ一ノ三十何万圓ト云フモノガ事務費デアル、ド

ウモ澤山事務費ガ要ルモノデアル、内容ガ詳シク判リマセヌガ、何カソレガ反対位ニシ明ニシテ戴キタイト思ヒマス

○進藤政府委員 實ハ補助費ノ十六万七千圓ニ對シテ事務費ガ十三万圓程掛ルノデアリマスガ、是ハ初年度ハ組合ガ少クテ、而モ平均四箇月分——年度内施行平均四箇月デアリマス、サウ云フ爲ニ比較的ニ補助金ニ對シテ事務費ガ割高デアル、斯様ナ恰好ニナツテ居リマスガ、次年度以降ハ補助ガ假ニ二三百万圓ニ増スト云フコトニナリマシテモ、事務費ハ現在ノ十三万圓ガ十

ガ少イ、明年度ヨリモット増額スルト云フ方針ニ付テハ後カラ述べタイト思ヒマスガ、先ツ其點ハ今日ハソレニ止メテ置キマス、少イノハ遺憾デアリマス、吾々ハ明年以降二年カ三年間ニ全部ニ行渉ラスト云フコトヲ熱心ニ希望シテ居ル者デアリマス

次ニ御伺致シタインハ、治療費ノ一部ヲ負擔スルコトニナル、此一部ノ負擔ト云フモノハ、一部ト云フノハドレダケガ一部ニナルノデアリマスカ、私達ノ考ヘマスルノハ、此組合ガ出來マスルガ、村ニ依ッテ、等級ニ依ッテ保険ヲ決メルコトニナツテ居ル、此法文ニ依ッテ見マスルト、非常ニ收入ノ多イ者ハ除ケルト云フコトニナツテ居ル、貧困ノ人ハ除ケルトハアリマセヌガ、非常ニ收入ノ多イ者ハ除ケルコトニナツテ居ルガ、先ジ第一ニ其限度ヲ聽カシテ貰ヒタイ、ソレカラ等級ハドウ云フ風ニスルノデアルカ、ソレカラ又保険金ハ、最高最低ハドノ範囲ニ止メルノデアルカ、ソレト曩ニ申シマシ

五万圓ニ植エルト云フ程度デアリマス、ニナルノデアルカ、ソコノ決定ヲ聽カシテウト考ヘテ居リマス、ソレカラ保険料デアリマスガ、大體等級ヲ付ケマシテ、ヤハリ資力ノ多イ者ハ多少澤山負擔スル、資力ノ少ナイ者ハ少ナク負擔ヲスルト云フコトニ原则トシテハ致シタ方ガ宜シト云フ風ニタ、一部ノ負擔モ或ハ村々ニ依ッテ違ヒマスルト、隣保共助、相扶共濟ニナリマセヌト、ソレガ村ニ依ッテ非常ニ異ル點ガアル

○松田委員 ソレハ當然デアリマスガ、金ガ少イ、明年度ヨリモット増額スルト云フ

ト云フモノガ餘リニ少ナイト云フコトニナリマスルト、粗診亂療ト云フ問題ガ起ルト

思フノデアリマス、其點ノ御方針ヲ一ツ聽カシテ貰ヒタイ

○清水政府委員 私カラ御答致シマス、先入シテ貰ヒタイト云フ御精神ハ分ッタガ、收入ノ多イ者ガ入ラナカツタ時ハドウスルカ、全部ヲ加入セルト云フ方法ニ定メルト云フコトハ出來オイカ、收入ノ多イ者ダケヲ除ケルト云フ見解、アナタノ只今ノ御答辯デモ其點ハ洵ニ明カデナ、ドノ程度カラ除ケルト云フコトハ分ラナイ、ドウスレバ宜イカ、其點ヲ聽カシテ貰ヒタイ、又等級モ何等ニ決メテ最高最低ハドノ位ニ決メルト云フ御決心ハアルカ、ソレカラ只今ノ醫療費ノ一部ノ負擔ト云フコトモ御方針ガ二割ト云フコトデアルガ、入院シタ時ハモット減シテモノノ御考ハ二割ガ最高デアル、ソコハ法シイト言フガ、サウスルト一部負擔ト云フモノノ御考ハ二割ガ最高デアル、ソコハ法ニ依ッテ決メルノデナクシテ組合ガ自由ニ定メテ宜シイ、或ハ三割負擔スル、或ハ三分ノ一負擔ヲスルト云フコトモ差支ナイ……

○清水政府委員 御答致シマス、先づ第一ニ全村加入ノ問題デアリマスガ、是ハ方針トシテハサウ致シタイト考ヘテ居リマス、勿論御話ノ如クドウシテモ入ラスト云フ人ハ強制ヲスルト云フコトニハナッテ居ラヌノデアリマス、唯組合ト致シマシテハ場合ニ依リマシテ強制加入ヲ命ゼラレル場合ガアリマスガ、其場合ニ於キマシテモ收入ノ多額ノモノハ強制ヲシナイト云フ大體ノ立前ニ致シテ居リマス、其限度ハ大體年收千七八百圓ト云フ所ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ保険料ノ問題デアリマスガ、是ハドノ位ノ等級ニ別ケルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ組合ノ自由ニ任セル譯デアリマシテ、其土地ノ事情ニ依ッテ色々ニナルト思ヒマスガ、一應吾々ノ考ヘテ居リマスル所ハ大體十階級位、ソレヨリ多少多イ位デス、最高ハ先づ一戸當リ月五圓位、最低ハ一戸當リ月五錢カ十錢位、但シ減免ノ出來ルコトノ規定ハアリマスガ、ソレ大體其位ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ一部負擔二割ノ問題ハ是モヤハリコチラノ大體ノ目安デアリマジテ、土地ノ事情ニ依ッテ二割ノ所モアリ、或ハ一割ノ所モ或ハ三割ノ所モアリマセウ、二割デナケレバ認可シナイト云フノデハアリマ

セヌ、大體二割程度ガ宜カラウト思フノデ、ソレデ大體進メテ行カウト云フノデアリマス、ソレカラ先程申シ落シマシタガ、全村加入ノコトニ付テハ、金持ガ入ラナカツタラ強制スル途ハ勿論ナイノデアリマス、唯、現在ハ前ニモ申シマシタガ、國民健康保險組合ニ類似シタ見本的ノ組合ガ全國ニ作ラレアリマスガ、其場合ニ於キマシテモ收入ノ多額ノモノハ強制ヲシナイト云フ大體ノ立前ニ致シテ居リマス、其限度ハ大體年收千七八百圓ト云フ所ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ行キマスト、金持ガ一人二人残ルト云フヤウナコトハ餘リナイノデハナイカト考ヘテ居リマス

○松田委員 只今收入ノ多イ者ト云フノヲ年收千八百圓位ト言ヘレタガ、千八百圓位ノ收入ノアル者ナラ代議士ダツテ三千圓デスカラソレニ入ル譯デス、ソレ等ヲ原則トシテ除クノデハアリマセヌ、入レバ入ッテモ宣イガ、除ケバ除イテモ構ハヌト云フヤウナ御意見デアッタ、サウ云フ規定ヲ設ケルノ多イ者ヲ除ケルト云フヤウナコトヲシテ、社會政策ノ消滅デアル、全村強制加入スガ、方針、趣旨ト致シマシテハ、全村是ニサスベキモノデアル、サウ云フコトニ強ユルコトハ出來マセヌカ、全村強制加入ガ

○清水政府委員 御話洵ニ御尤モト考ヘマドウスルカト云フ御話デアリマスガ、之ヲ強制スル途ハ勿論ナイノデアリマス、唯、現在ハ前ニモ申シマシタガ、國民健康保險組合ニ類似シタ見本的ノ組合ガ全國ニ作ラレアラウカ、サウシナイデモ日本ニハ隣保共助ノ立派ナ美風ガアル、其美風ヲ活カシテ全村加入スルト云フコトヲ事實上サウシタラ宜テ居ルヤウデアリマシテ、事實地方ノ事情カラウ、隨テ只今御話ノ如ク多額ノ收入ノアル者ハ入りタケレバ入ッテ宜カラウ、入りタクナケレバ入ラヌデモ宜カラウ、ト云フ程度デナク、是非入ッテ貰ヒタイノデス、ソレデ唯法律ト致シマシテハ是ハ規則ノコトデアリマスノデ、ソコマデ強制スルト云フコトハドウデアラウカ、只今申シマシタ實情カラ申シマシテ、強制ノ場合ニハ多額ノ收入ノアル者ヲ除クト云フ規定ニハナリマスガ、方針、趣旨ト致シマシテハ、全村是ニサスベ戴キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスモソレハ加入サスベキモノデス、ソレヲ入レナカツタナラバ此組合ト云フモノハ成立シマセヌ、日本ノヤウナ大家族主義ノ國家トシテ、サウ云フ資産ノ有ル人ダケ特別ニ優待スルト云フコトニナツタナラバ問題デス、地方ノ美風ヲ破壊スルモノデス、サウ云フコトニナツテ入ラヌデモ宜シトイト云フコトデナク法ヲ以テ加入サセルト云フコト

○清水政府委員 御答致シマス、先づ第一ニ全村加入ノ問題デアリマスガ、是ハ方針トシテハサウ致シタイト考ヘテ居リマス、勿論御話ノ如クドウシテモ入ラスト云フ人ハ強制ヲスルト云フコトニハナッテ居ラヌノデアリマス、唯組合ト致シマシテ、其場合ニ依リマシテ強制加入ヲ命ゼラレル場合ガアリマスガ、其場合ニ於キマシテモ收入ノ多額ノモノハ強制ヲシナイト云フ大體ノ立前ニ致シテ居リマス、其限度ハ大體年收千七八百圓ト云フ所ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ行キマスト、金持ガ一人二人残ルト云フヤウナコトハ餘リナイノデハナイカト考ヘテ居リマス

○松田委員 只今收入ノ多イ者ト云フノヲ年收千八百圓位ト言ヘレタガ、千八百圓位ノ收入ノアル者ナラ代議士ダツテ三千圓デスカラソレニ入ル譯デス、ソレ等ヲ原則トシテ除クノデハアリマセヌ、入レバ入ッテモ宣イガ、除ケバ除イテモ構ハヌト云フヤウナ御意見デアッタ、サウ云フ規定ヲ設ケルノ多イ者ヲ除ケルト云フヤウナコトヲシテ、社會政策ノ消滅デアル、全村強制加入スガ、方針、趣旨ト致シマシテハ、全村是ニサスベキモノデアル、サウ云フコトニ強ユルコトハ出來マセヌカ、全村強制加入ガ

○清水政府委員 御答致シマス、先づ第一ニ全村加入ノ問題デアリマスガ、是ハ方針トシテハサウ致シタイト考ヘマドウスルカト云フ御話デアリマスガ、之ヲ強制スル途ハ勿論ナイノデアリマス、唯、現在ハ前ニモ申シマシタガ、國民健康保險組合ニ類似シタ見本的ノ組合ガ全國ニ作ラレアラウカ、サウシナイデモ日本ニハ隣保共助ノ立派ナ美風ガアル、其美風ヲ活カシテ全村加入スルト云フコトヲ事實上サウシタラ宜テ居ルヤウデアリマシテ、事實地方ノ事情カラウ、隨テ只今御話ノ如ク多額ノ收入ノアル者ハ入りタケレバ入ッテ宜カラウ、入りタクナケレバ入ラヌデモ宜カラウ、ト云フ程度デナク、是非入ッテ貰ヒタイノデス、ソレデ唯法律ト致シマシテハ是ハ規則ノコトデアリマスノデ、ソコマデ強制スルト云フコトハドウデアラウカ、只今申シマシタ實情カラ申シマシテ、強制ノ場合ニハ多額ノ收入ノアル者ヲ除クト云フ規定ニハナリマスガ、方針、趣旨ト致シマシテハ、全村是ニサスベ戴キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスモソレハ加入サスベキモノデス、ソレヲ入レナカツタナラバ此組合ト云フモノハ成立シマセヌ、日本ノヤウナ大家族主義ノ國家トシテ、サウ云フ資産ノ有ル人ダケ特別ニ優待スルト云フコトニナツタナラバ問題デス、地方ノ美風ヲ破壊スルモノデス、サウ云フコトニナツテ入ラヌデモ宜シトイト云フコトデナク法ヲ以テ加入サセルト云フコト

○松田委員 淳ニヌルイ御意見デアッテ遺憾ニ思ヒマスガ、全村加入ヲサセマセヌデ、ソレデモ仰セノ通リ全村加入ト云フコトヲ希望シマシテ、ソレヲ許可スル積リデ居リマス、隨ヒマシテ今年豫算ガ通リマシタ場合ニ許スモノハ、全部全村加入ノモノニナルト云フコトヲ申上げテ置キマス

○松田委員 方針ト致シマシテハ何處

ニ決心サレタラドウデスカ、サウセヌト美風ヲ破壊シマズ、ノミナラズ、此組合ハ成立シ難イト思ヒマス、全村加入ヲシナカツ

タナラバイカヌト云フコトニシテ置カネバ

收入ノ多イ者ヲ除ケテ居ツテモ宜イト云フヤウデハ此組合ハ出來ヌ、出來ヌコトヲ見込ンデ案ヲ作ッタノデヤナイカト云フヤウニ吾々ハ思フ

ヨリ開會致シタイト思ヒマス、成ベク時間厲行デ御出席ヲ願ヒマス

午後零時十五分散會

○進藤政府委員 重ネテ申上ゲマスガ、何處マデモ政府ノ方針ハ、趣旨書ニモ書イテアリマスガ、全村加入ト云フノガ趣旨デアリマス、唯話ガ岐路ニ入リマシタガ、法律デナゼ全村加入ト云フコトヲ強制セヌカ、又組合加入ヲ地方長官ガ強制スル場合ニ、全部ニセヌカト云フコトデアリマスガ、其場合ニハ入リタクナイト云フ金持ハ入ラヌデモ組合ノ成立ヲ妨げナイトイフコトヲ言ウタダケデアリマシテ、何處マデモ組合設立ノ趣旨ナリ實際上ノ方針トシマシテハ、全村加入ト云フコトデ行キタイノデアリマス

○松田委員 私マダ變ツタ問題ニ付テ質問シタイコトガアリマスガ……

○添田委員長 ソレナラバ一寸此場合ハオ止メラ願ヅテ、引續イテ次回ニ願ヒタイ、本日ハ是デ散會致シマス、明後日午前十時半